

未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・
支援委員会平成27年度第2回会議

日時 2015年6月10日（水）
（平成27年）

午後4時

場所 湘南NDビル6階6-1会議室

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 平成27年度第1回会議の開催結果について（資料1）
- (2) セーリング競技の開催会場について（資料2）
- (3) その他

3 閉会

事務局 藤沢市企画政策部企画政策課
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
電 話 (0466) 50-3502
ファクス (0466) 50-8400
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会 委員名簿

2015年6月10日現在

(敬称略)

役職名	氏名	団体名	役職	種別
副委員長	田中 正明	藤沢商工会議所	会頭	経済団体
副委員長	二見 幸雄	公益社団法人藤沢市観光協会	会長	観光団体
	齋藤 光久	公益社団法人藤沢市商店会連合会	理事長	経済団体
	田中 正明	公益財団法人湘南産業振興財団	理事長	経済団体
	安藤 信介	一般社団法人藤沢青年会議所	理事長	経済団体
副委員長	大縫 光宏	藤沢市体育協会	会長	スポーツ団体
	小野 晴弘	公益財団法人藤沢市みらい創造財団	理事長	スポーツ団体
	武内 鉄夫	公益社団法人藤沢市医師会	会長	医療関係団体
	鈴木 聡行	公益社団法人藤沢市歯科医師会	会長	医療関係団体
	齊藤 祐一	一般社団法人藤沢市薬剤師会	会長	医療関係団体
	加藤 正美	社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会	会長	福祉団体
	安 咸子	特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進連絡会	理事長	市民活動団体
	河添 健	慶應義塾大学総合政策学部	学部長	市内大学
	河野 英一	日本大学生物資源科学部	学部長	市内大学
	松本 信雄	湘南工科大学	学長	市内大学
	安田 震一	多摩大学グローバルスタディーズ学部	学部長	市内大学
委員長	鈴木 恒夫	藤沢市	市長	行政

未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック誘致・支援委員会平成27年度第1回会議議事概要

- 1 日時 2015年（平成27年）4月22日（水）午後4時～4時30分
- 2 場所 湘南NDビル6階6-1会議室
- 3 議題

開会に当たり、鈴木委員長から挨拶をし、大縫体育協会会長を副委員長の指名し、了承された。また、新任の青年会議所安藤理事長よりご挨拶をいただいた。

(1) 平成26年度第3回誘致・支援委員会会議の開催結果について

事務局から資料に沿って、8月5日に開催した第3回委員会の議事概要について説明した。

(2) これまでの取組状況について

事務局から資料に沿って、これまでの取組状況について説明した。キャンプ等の誘致については、現時点で決定したものはなく、何も決まることなく現在に至っていること、県の事前キャンプリーフレットをもとに、県に帯同し、誘致活動をしてきていることについて説明した。

(3) 当面の取組みについて

事務局から資料に沿って、最近のメディア報道等について説明した。代替地の有力な候補となっていること、蒲郡は立候補したが、県と市は見守るスタンスとしたこと、6月7日、8日に国際オリンピック委員会の理事会があり、承認される可能性があること、課題点として、漁網、海水浴客、商店街との調整等が挙げられていることについて説明した。招致した都、都連等に十分配慮した形での取組が必要であることを説明した。

(4) その他

委員長から、オリンピック・パラリンピック以前にもラグビーやサッカーワールドカップなど、様々な大会が開かれるので、その際の協力を依頼した。

2020年東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技会場 に江の島が承認されたことについて

スイスのローザンヌで開催されていた国際オリンピック委員会（IOC）理事会において、2020年東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技会場として江の島（藤沢市）が承認されました。

1 鈴木市長コメント

(1) 6月8日午後11時20分発表

まず、IOC理事会において、本市江の島へのセーリング競技の会場の変更が承認されたということについては、新聞報道等で承知をしております。

国内での正式な発表は後日との話もいただいておりますが、まずはそうした候補として選ばれ、国際的に評価をいただいたこと、そしてこうしたご連絡をいただいたことについて、大変うれしく、光栄に思っております。

(2) 6月9日コメント要旨

前回の東京大会に引き続き江の島を大会会場として認めていただき、大変光栄に、また嬉しく思っています。当時の大会の際の感動がよみがえるようで、大きな希望と期待を寄せているところです。1964年大会から日本や世界のヨット競技のシーンを彩ってきた江の島が、再びオリンピックの正式種目の会場に選ばれたことは、市民の皆様にとっても感動的な出来事だと思います。次の世代を担う青少年・子どもたちにも大きな夢や希望を与えてくれるものと思います。また、選手や観客にとっても、世界文化遺産の富士山をバックにした相模湾という最高のレース環境にご満足いただけるものと考えています。

最終的にご決定いただいた際には、競技者、アスリートファーストを基本として、安全で円滑かつ充実した競技大会の成功に向け、最大限の努力をもってお迎えをしたいと思っております。また、あくまでも東京の大会でありますので、東京都をはじめ、組織委員会、県、近隣市町、関係団体、そして市民の皆様と協力して、全力で取り組みたいと思っております。

「2025年問題」をはじめとする社会の変化に前向きに対応していくためにも、2020年は大切な節目の1年になってきます。市制施行80周年の年

でもありますので、市民の皆様にも、是非いろいろな場面で大会に関わっていただくことで、市民と都市の元気や活力を高めていきたいと思っています。

2 直近の動向

月日	内容
4月10日	東京都議会オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会において、航空管制の調整と並行して、代替会場となる既存施設の検討が表明される。
5月16日	東京都、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、国際セーリング連盟（ISAF）、日本セーリング連盟（JSAF）により、湘南港等の視察が行われる。
6月8日	国際オリンピック委員会（IOC）理事会において、2020年東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技会場として、江の島（藤沢市）への変更案が承認される。

3 これまでの取組

2013年（平成25年）9月に東京での大会開催が決定されて以降、2014年（平成26年）1月には庁内推進会議、4月には市及び市内団体の計17団体で構成する「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」（誘致・支援委員会）を設置し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を、全市を挙げて支援し、観光振興や地域経済、生涯スポーツ、国際交流等の活性化を図るよう、事前キャンプの誘致活動の実施をはじめ、支援策の検討等を進めてきました。6月10日には、誘致・支援委員会として、ビーチバレーボール国内4選手を招いてのトークセッションを開催しました。

同年6月には会場見直しの議論がスタートする中で、7月30日に開催された湘南地域首長懇談会において、神奈川県からは、江の島での大会開催について、既に都に行政レベルでの意思表示をしていること、財政負担に関する覚悟を持って臨むことの回答がありました。以降は、都県の間関係を重視した形で、市としては積極的な情報提供や課題点に関する提案等を行うとともに、神奈川県に対して

施策・制度・予算の要望を行ってきました。

平成27年度神奈川県の実策・制度・予算に関する要望 抜粋
「東京オリンピック・パラリンピック支援に向けた環境整備について」

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会におけるセーリング、ビーチバレー競技を支援し、恒常的な湘南江の島の魅力アップを図るため、練習を円滑に行えるトレーニング施設、江の島大橋及び弁天橋の架け替え等基盤整備を推進するとともに、片瀬江ノ島駅駅舎の改良及び駅前広場の拡張整備についても本市と共同して小田急電鉄に働きかけること。また、交通アクセスの改善を図るため、都市計画道路藤沢厚木線辻堂工区及び横浜藤沢線川名工区の早期着手、(仮称)湘南台寒川線の事業化を推進するとともに、横浜湘南道路及び高速横浜環状南線の2020年度までの確実な供用開始に向けて国等に働きかけること。

4 今後の取組

開催決定がなされた段階ですので、詳細については今後調整がなされることと思います。既に選手村の分村をはじめとする大会運営面をはじめ、交通渋滞などの周辺環境のご心配もあることと思いますので、県にリーダーシップを発揮いただきながら、市としてできることを全力で取り組み、東京大会を支援していきます。

また、市としても誘致・支援委員会での検討を中心に、市民の皆様に様々な活動で大会に関わっていただくことで、夢や希望、感動、活力、元気を未来につなぐ、市民一人一人の大会になるよう、取り組んでまいります。